

## 琉球大学医学部附属病院専門研修センター主催・ 沖縄県医師会女性医師部会共催プチフォーラム 「女性医師がいきいきと働くためには」(大学病院編)に参加して

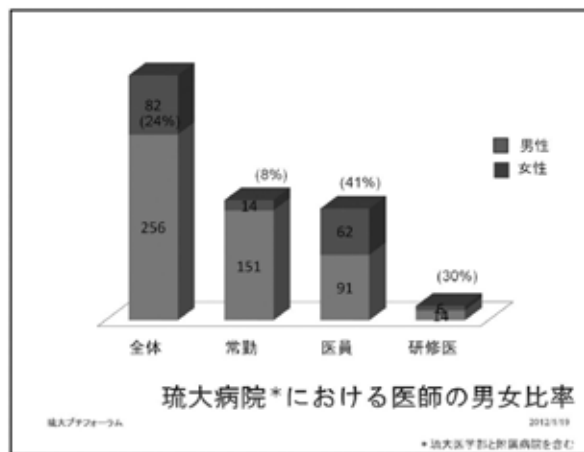
沖縄県医師会女性医師部会副部長 銘苺 桂子  
委員 外間 雪野



去った1月19日、琉大医学部附属病院専門研修センター主催、沖縄県医師会女性医師部会共催によるプチフォーラムが、同大専門研修センター特命助教・コーディネーターである宮城めぐみ先生の司会のもと、学内の臨床研究棟1階、大学院セミナー室にて行われました。お忙しい中、各診療科の1年目から20年目までという様々な年代の先生方にお集まりいただき、途中参加も含め27名もの先生方が参加されました。その中には、女性医師の就労支援にご理解のある男性医師4名も参加されました。

専門研修センター長、大屋祐輔先生のごあいさつのあと、女性医師部会役員であり、琉大周産母子センター助教の銘苺桂子先生に、「女性医師がいきいきと働くためには(大学病院編)」と題して、プレゼンテーションを行っていただきました。

銘苺先生のプレゼンテーションでは、全国的な女性医師の増加についての説明と、これまでの県医師会女性医師部会の活動内容について説明いただいた後、院内の女性医師の現状について報告がありました。



次に、銘苺先生が所属されている産婦人科における女性医師支援への取り組みについて説明がありました。

6、7年前に産婦人科医が激減し、激務→疲弊退職→残された人が更に激務に、という悪循環に陥り、医局崩壊の危機に直面していたとのことでした。その対策として、医局内にQOL担当者を置き、女性医師が辞めない医局への模索を開始し、その努力が続けられた結果、入局者が徐々に増加し、現在では若手医師が13人と院内でも多数を誇る医局に成長されたとのことです。またそのなかの9名(70%)が女性医師で、内8人(90%)が既婚者という既婚女性医師の多い医局になっているとのことでした。今後は入局した医師たちが「専門医を効率よく取得し、産婦人科を辞めずに働き続ける」という視点にたった働き方を行っていくとのこと、女性医師支援を考える上でも、また男女問わず医局員不足に悩む医局にとっても非常に示唆に富んだ内容でした。最後に、女性医師支援に関して今後は大学全体で考えていく必要があると思われる、とまとめておられました。

銘苺先生のプレゼンテーション後、各グループでの話し合いがもたれました。各テーブルでは各科の先生方が、診療科、医師年数の枠を超えて女性医師の境遇について話し合われました。このような情報交換の機会は初めてということもあって、各テーブルでは熱いトークが繰り広げられました。

グループで話し合われた内容として、以下のようなことが挙げられました。

- ①各科とも個別に主治医制、グループ制、短時間勤務制度等が取り入れられている
- ②琉大病院では数年前から育児支援のために、短時間勤務制度が制定され、復帰する女性医師が増加している
- ③民間病院では後期研修が終わるとその病院とは縁が切れることが多い。医局があるというのは大学のメリットであり、帰る場所があることは大きい
- ④専門医を取る上で大学に残るメリットは大きい

- ⑤各科で女性医師に対して時短勤務、当直免除等いろいろな工夫はされているが、女性医師というよりもマンパワーが足りず、なかなかそこまで手が回せない科が多い
- ⑥子育てをしているモデルとなる女性医師が大学にはまだまだ少ない
- ⑦大学は非常勤が多く、特に女性医師は非常勤の割合が多いため、福利厚生をどうするかという問題がある
- ⑧大学附属の保育園については、開園時間が短い
- ⑨女性医師に対して待遇がよい科が研修医に選ばれると思われる。研修医が一人増えるだけで医局は明るくなる。研修医を増やすためにも対策を考えていく必要がある

終わりに第一外科の長濱先生が、今後の日本の医療には女性医師が必要であり、継続性のある仕事をしていただきたいという言葉で締めくくられました。会が終了した後でも、まだまだ時間が足りないといった様子で、会場に残られた女性医師たちの熱いトークは続いておりました。

今後は大学全体で情報を共有し、統一した対応で女性医師の就労支援を考えていく必要があると思われます。その意味でも、今回のような会で女性医師たちの「生」の声を聞くことができ、また科の枠を超えてお互いの現状の情報交換が出来たのは、非常に有意義であったと思われます。主催された専門研修センターは、やむなく臨床の現場を離れた医師のスムーズな現場復帰をサポートする復職支援の窓口となっているとのことでした。専門研修センターの今後のさらなる取り組みに期待したいと思います。

※琉球大学医学部附属病院  
 専門研修センターへのご相談・お問い合わせ  
 〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字  
 上原207番地  
 TEL：098-895-1372  
 FAX：098-895-1500  
 E-mail：rsenmon@jim.u-ryukyu.ac.jp  
 働く場の環境支援部門 担当 宮城 めぐみ